

学科 学年	S2	科目 分類	プログラミング演習 II Computer Programming II	実習 必修	通年 2単位	学習教育 目標 3	担当	鈴木康人 SUZUKI Yasuhito
概要	C言語による中級以上のプログラミング技能を習得する。							
科目目標 (到達目標)	i)C言語の簡単なコードが読解できる,ii)ポインタが理解できる,iii)関数呼び出しが使用できる,iv)構造体を利用したコードを読むことができる,v)二人以上のコード作成におけるドキュメントや打ち合わせの重要性が理解できる。							
教科書 器材等	自作テキストを配布する。また、最後のデータ構造については近藤著「定本Cプログラマのためのアルゴリズムとデータ構造」を利用する。							
評価の基準と 方法	レポートと口頭諮問、班別演習の状況によって評価する。レポートや口頭諮問の内容によっては追加の課題を課する場合がある。年度末までにレポートをすべて提出することで評語Cが確定する。表紙がきちんと記載され、プログラムで使用されている変数の表が指定された通りに記載されているかは常にチェックされる。また、課題に対する分析考察の内容で加点する。							
関連科目	プログラミング演習Iを必修前提とする。離散数学に関連する。							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		オリエンテーション						
第2回		レポート作成について(B班)						
第3回		レポート作成について(A班)						
第4回		条件文とelse,変数宣言(B班)						
第5回		条件文とelse,変数宣言(A班)						
第6回		繰り返し文とbreak(B班)						
第7回		繰り返し文とbreak(A班)						
第8回		配列と変数宣言(B班)						
第9回		配列と変数宣言(A班)						
第10回		ポインタ変数(1)(B班)						
第11回		ポインタ変数(1)(A班)						
第12回		ポインタ変数(2)(B班)						
第13回		ポインタ変数(2)(A班)						
第14回		前期総合課題(B班)						
第15回		前期総合課題(A班)						
第16回		構造体(B班)						
第17回		構造体(A班)						
第18回		関数呼び出し(B班)						
第19回		関数呼び出し(A班)						
第20回		ファイル入出力と構造化プログラミング(B班)						
第21回		ファイル入出力と構造化プログラミング(A班)						
第22回		再帰関数(B班)						
第23回		再帰関数(A班)						
第24回		コード分割(B班)						
第25回		コード分割(A班)						
第26回		データ構造(B班)						
第27回		データ構造(A班)						
第28回		総合課題(B班)						
第29回		総合課題(A班)						
第30回	×	アンケート、達成度調査						

オフィス アワー	火曜放課後をオフィスアワーとする。
授業アンケート への対応	レポートの質や量が適切でないという回答が多かったが、ケアレスミスが多すぎる 学生の態度に猛省を促したい。
備 考	総合課題は状況によっては実施されないことがある。 本演習は進級に必要な科目として指定されているため、本教科を履修しなければ進 級できない。
更新履歴	20100326 新規